

◎昭和47年度第2回理事会議事録(47.7.25)出席者:岡本会長,石川,篠原,横道の各副会長,下村専務理事,足立(委任状),浅間,荒木,市田(委任状),大塚,岡田,金子(委任状);叶(委任状),後藤,鈴木,田辺(委任状),長尾,難波,林(委任状);半谷,平嶋,福岡,細井,松本,吉田の各理事,奥田,渡辺の各監事。議事録署名理事の決定:岡本会長,下村専務理事,岡田理事。A. 報告事項:1) 会計報告:下村専務理事から概略説明があり,了承。2) 刊行物頒布報告および,3) 各種委員会その他の報告について:説明を省略して了承。4) 会長懇談会報告:下村専務理事から,去る7月4日(火)に恒例により,歴代会長および岡本会長(計14名)の参加による会長懇談会が開催された旨の報告があった。5) 会務担当(合同)理事会報告:下村専務理事から,去る7月3日(月)に会務担当(合同)理事会を開催し,土木学会の運営に関する当面の諸問題について種々討議したが,引続いて次回は8月14日(月)に開催することになった旨の報告があり,また岡本会長から,しばらくの間継続して行ないたい旨の発言があった。B. 協議事項:1) 土木図書館備品「複写機」の買替について:下村専務理事および事務局員から,土木図書館備品複写機は老朽のため,予算外ではあるが,土木史預り金勘定を財源として,新機械(U-Bix 480)を購入したいと提案があり,種々論議された結果,異議なく決定。2) 支部長・支部幹事長会議の開催について:下村専務理事から,例年支部幹事長会議を開催しているが,各支部の強い要望により,本年は支部長・幹事長会議として8月29日(火)に開催することとし,理事会側出席者は会長,在京の副会長,理事全員とし,議題は各支部へ照会中であるが,そのテーマはI会員の増加,勧誘について,II会員は学会に対して何を望んでいるかの2点を予定しているが,意見があれば伺いたいと提案があり,種々論議された結果;各支部提案の議題については次回理事会で検討することとして,異議なく決定。3) 会員関係業務におけるコンピュータシステムの導入について:下村専務理事から,日本工学会加盟学協会事務局で構成している事務研究委員会では,数年前から会員関係業務におけるコンピ

ータシステムの導入について検討していたが,最近ようやく煮つまつてきたので,日本工学会から共同処理のシステムに参加の有無について照会があった旨の説明があり,次いで事務局員から導入に伴う今後の事務処理の利害得失および経費の増減について説明があった。これについて種々論議された結果,少なくとも現時点では得策でないとして,システムに参加しないことに決定。4) その他:①会員入退会について:下村専務理事から説明があり,異議なく承認。なお,会員の卒業学校別,卒業後年数別,勤務先別の分布状況について,あわせて説明があったが,岡本会長から毎年の卒業生数およびそのうちの入会者数について調査するよう指示があった。②次の理事会について。③理事会の運営について:岡本会長から,本件については7月3日(月)開催の会務担当(合同)理事会においても論議された問題であるとして,当日の審議概要および引続いてさらに検討(次回8月15日)したい旨の説明があり,了承。なお説明の過程において,理事会は隔月に1回くらい開催するのが能率的ではないか等の発言があり,岡本会長から,少なくとも毎月1回開催を規定している定款を改正してまで行なうことはしばらくの間は見合せたいとの回答があった。また,理事会の開催通知は,可能な限り,具体的な件名,内容その他審議に対する考え方を事前にまとめ得るようにされたいとの要望があった。④岡本会長から,日本学術会議会員から次の事項について意見があったが,これに対する土木学会の体制をどう考えるべきかとの発言があった。

a) 日本学術会議では7つの特別委員会を設置したが,そのうち「環境」と「都市・地域・国土」の2つについては,土木学会にも非常に関係あるものと考えられる。b) 日本学術会議では国際会議の分担金を出している部門(例 医学)があるが,第5部関係はないので,非常に苦勞している。

以上のうち,特に a) について種々論議された結果,これを会務担当理事会で検討することとし,日時その他については途を協議することに決定。

5) 委員の委嘱

- ① 会誌編集委員会
委員長 天野光三 京科大学
委員 伊藤学 京科大学
稲見俊明 建設省
榎波義幸 建設省
大河原満 建設省
河合恂二 水公団

- 柏倉古谷中橋福松安浅野中吉中馬安村原田上小小浜
- 原方賀内村本井本田池村田中馬安村原田上小小浜
- 英慶美勝弘経正昌秋達祐弥亮重英久勝太康
- 郎夫祐美宏之一敏克江也忠智博介彦久義基郎敏
- 経企庁 新日本技研 農林省 通産省 電研 道路公団 建設省 都庁 鹿島建設 東北工大 東北大 神奈川県 名工大 大阪市大 国鉄 西鉄 東工大 国鉄 間組 大林組 首都高 環境庁
- ② 会誌編集委員会
委員長 鮎村吉前松福中山
委員 柳史郎 建設省 石川島播磨重工業 日本道路公団 日本大学 神戸製鉄 早稲田大学 国鉄 電力中央研究所 埼玉大学 宮地鉄工所 中央大学 東京大学 電力中央研究所 武蔵工業大学 東京都立大学 山梨大学 厚生省 東京工業大学 運輸省 名古屋大学 東京大学 建設省 早稲田大学 東京大学 建設省 建設省 電力中央研究所 建設省 千葉工業大学 埼玉大学 日本道路公団 九州大学 東海大学 電力中央研究所 運輸省 大林組
- ③ 論文編集委員会
委員長 久野悟郎 中央大学
副委員長 〇室田明 大阪大学
委員 青柳史郎 最大構設計センター
- 〇岡内山原谷川岡子具田木川藤川玉橋前中駒清水吉松山江奥喜
- 岩崎遠藤川波宮森渡秋沢成内片北星堀今金椎合高市齊藤玉橋前中駒清水吉松山江奥喜
- 崎良博昌凱野辺成沢成内片北星堀今金椎合高市齊藤玉橋前中駒清水吉松山江奥喜
- 敏雄宏夫玄行啓成沢成内片北星堀今金椎合高市齊藤玉橋前中駒清水吉松山江奥喜
- 男善雄夫玄行啓成沢成内片北星堀今金椎合高市齊藤玉橋前中駒清水吉松山江奥喜
- 中央大学 大阪大学 最大構設計センター 建設省 石川島播磨重工業 日本道路公団 日本大学 神戸製鉄 早稲田大学 国鉄 電力中央研究所 埼玉大学 宮地鉄工所 中央大学 東京大学 電力中央研究所 武蔵工業大学 東京都立大学 山梨大学 厚生省 東京工業大学 運輸省 名古屋大学 東京大学 建設省 早稲田大学 東京大学 建設省 建設省 電力中央研究所 建設省 千葉工業大学 埼玉大学 日本道路公団 九州大学 東海大学 電力中央研究所 運輸省 大林組

沢田健吉 建設省
 矢作田 首都高速道路公団
 山清 日本大学
 佐武正雄 東北大学
 永井靖郎 建設省
 中村良夫 東京大学
 松浦章夫 国鉄
 加来照俊 北海道大学
 安山山 愛媛大学
 奥山信英 総理府
 片倉正彦 東京工業大学
 推広 彪 建設省
 堀田良輔 国鉄
 堀江興 東京都
 ○松本嘉司 東京大学
 村井上治 東京大学
 村上順雄 建設省
 ○岩間滋 建設省
 青柳征夫 電力中央研究所
 高岐久史 竹中工務店
 佐鳥悦久 日本舗道
 長滝重義 東京工業大学
 波木守 ユニック
 山中紀男 日本セメント
 守屋重孝 大成建設
 内中雅博 首都高速道路公団
 大田内裕二 建設省
 三浦尚彦 日本大学
 官田尚彦 国鉄
 ○印部門主査
 ④ 海外活動委員会
 委員長 吉越盛次 鹿島建設
 委員 池原武一郎 国鉄
 新家義雄 海外技術協力事業団
 羽田巖 前土木学会専務理事
 水野昭建 建設省
 山吉純明 農林省
 田方通彦 通産省
 伊藤学 東京大学
 河本五洋 五洋建設
 三國英四郎 電源開発
 松原健太郎 日本交通技術
 広田孝夫 運輸省
 津原誠平 日本工営
 藤原義平 間組
 赤木俊允 東洋大学
 兼 兼 兼
 員 員 員
 事 事 事
 幹 幹 幹
 事 事 事
 一 一 一
 泉 信也 大林組
 北村黎夫 運輸省
 鈴村黎夫 大成建設
 大曲裕実 外務省
 坂上哲夫 電源開発
 成永永夫 農林省
 沢谷田夫 日本工営
 島田一乃 日本道路公団
 榑貝文雄 海外技術協力事業団
 松本修躬 国鉄
 紅松一雄 パシフィックコンサルタント
 溝口忠建 建設省
 徳岡猛 鹿島建設
 ⑥ 文献調査委員会
 委員長 伊藤喜栄 学 東京大学
 委員 伊藤喜栄 大成建設
 工藤正尚 建設技術研究所
 三浦尚彦 首都高速道路公団
 町野篤 埼玉大学
 星谷勝 武蔵工業大学

小林康彦 厚生省
 椎貝博美 東京工業大学
 高野博 電力中央研究所
 市川義博 日本道路公団
 大内久夫 運輸省
 河上吾舌 名古屋大学
 村上郁雄 国鉄
 委員 兼 西村仁嗣 東京大学
 兼 事
 ⑥ 図書館運営小委員会
 委員 官村忠 東京大学
 広瀬久政 フジタ工業
 ⑦ 橋梁年報編集小委員会
 委員 荒川直士 日本道路公団

◎各種委員会

(1) 土木工学ハンドブック編集幹事会 (47.5.9) 出席者：八十島委員長，山本委員長代理，千秋幹事長，ほか9名。議事：1) 全体目次構成。2) 各編目次(細目)の検討および重複する事項処置。3) 各編割当ページ数について。
 (2) 総合開発懇談会(第6回幹事会) (47.5.9) 出席者：八十島座長，ほか3名。議事：1) 経過報告。2) 第4回総合開発懇談会の件協議。3) 懇談会人事協議。4) その他。
 (3) 第7回土木工学ハンドブック編集幹事会 (47.5.25) 出席者：八十島委員長，山本委員長代理，千秋幹事長，ほか9名。議事：1) 執筆要綱草案について。2) 各編設定方針について。3) 各編内容について。4) 各編主査委員(案)について。5) その他。
 (4) 土木製図基準改訂委員会(昭和47年度・第1回) (47.5.26) 出席者：菊池委員長，ほか10名。議事：1) 行事企画委員会より申入れの件について。2) 自動製図・自動設計等の今後の取上げ方法について。3) 土木製図基準1972年版の今後の改訂方針について。
 (5) 膨張セメント混和材を用いたコンクリートに関する研究小委員会(47.6.2) 出席者：年分委員長，ほか12名。議事：膨張性セメントコンクリートシンボジウムの実施について。
 (6) 耐震工学委員会編集小委員会打合せ (47.6.2) 出席者：久保委員長，ほか7名。議事：構造物の地震応答解析と実例(出版物)の編集作業を行なった。
 (7) 海岸工学委員会編集小委員会 (47.6.2) 出席者：堀川委員長，ほか6名。議事：第19回海岸工学講演会講演申込みに伴う論文要旨の査読およびプログラム案の作成。
 (8) 土木計画学研究委員会土木計画学シリーズ編集小委員会 (47.6.2) 出席者：関係者5名。議事：1) 第II巻の目次構成について協議。2) その他。

(9) 海岸工学委員会幹事会(47.6.2) 出席者：岩垣委員長，堀川幹事長，ほか8名。議事：1) 第19回海岸工学講演会(論文)申込みについて；①論文の採否について；②執筆依頼について；③プログラムの件。2) 業界案内欄掲載の件。

(10) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会斜面およびのり面分科会幹事会 (47.6.5) 出席者：関係者13名。議事：斜面およびのり面に関する検討。

(11) 耐震工学委員会第3回委員会 (47.6.6) 出席者：岡本委員長，久保副委員長，ほか14名。議事：1) 議事録の確認。2) 常任委員会経過報告。3) 連絡ならびに協議事項；①I.A.E.E.について；②本四連絡橋耐震小委員会について；③構造物の地震応答解析と実例(出版物)について；④第12回地震工学研究発表会開催について。

(12) 原子力土木委員会立地部会沿岸立地分科会 (47.6.6) 出席者：千秋主査，ほか10名。議事：1) 科学技術庁「原子力平和利用に関する研究費」委託費申請より今日までの経緯について。2) 「原子力発電所温排水の水温影響低減化に関する調査研究」の進め方について。

(13) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会 (47.6.6) 出席者：岩井委員長，ほか9名。議事：1) 霞ヶ浦の現地視察。2) 報告書のとりまとめについて。

(14) 会誌編集小委員会 (47.6.6) 出席者：千秋委員長，服部幹事長，ほか10名。議事：1) 経過報告。2) 受付原稿査読。3) 会誌57巻10, 11号の編集。4) その他；①文献調査委員会からの連絡事項討議，②口絵写真の件。

(15) 鋼構造委員会(第5回) (47.6.7) 出席者：友永委員長，ほか17名。議事：1) 小委員会の計画(案)。2) 最近の外国における橋梁の事故。3) IABSEについて。4) 他学協会，機関等に関する連絡事項。

(16) 鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会幹事会 (47.6.7) 出席者：村上主査，ほか14名。議事：下水道シールド用鋼製セグメントの規格化案の審議。

(17) 耐震工学委員会打合せ(47.6.8) 出席者：関係者3名。議事：日本機械学会標準化部会 ISOITC-108 調査について。

(18) 会誌編集委員会審評小委員会合同委員会 (47.6.8) 出席者：堀江(前)委員長，鮎川(新)委員長，ほか10名。議事：1) 経過報告。2) 受付図書査読。3) 昭和47年度委員会運営方式協議。

(19) 岩盤力学委員会第1分科会地質調査班打合せ(47.6.9) 出席者:関係者9名。議事:“地質調査に関する解説書”原稿に関する第2回集中読会。

(20) 海外工事契約示様書研究会(47.6.9) 出席者:横山,赤木副主査,ほか15名。議事:テキスト第11章につき検討協議した。

(21) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会(第13回)(47.6.9) 出席者:関係者7名。議事:塗装仕様のとりまとめ。

(22) 第7回土木計画学研究会土木計画学シリーズ編集小委員会(47.6.9) 出席者:長尾委員長,ほか8名。議事:1)経過報告。2)出版委員会への回答書検討。3)第I,II巻の目次構成協議。4)その他。

(23) 海外活動委員会幹事会(47.6.9) 出席者:赤木幹事長,ほか10名。議事:1)幹事長あいさつ。2)自己紹介。3)内規について。4)47年度の活動方針。5)幹事の分担。6)委員会提出議題について。7)Civil Eng. in Japan, 1972について。8)その他。

(24) 衛生工学委員会(47.6.10) 出席者:左合委員長,ほか11名。議事:1)衛生工学委員会運営方針。2)各小委員会報告。3)研究討論会について。

(25) 第2回沈埋トンネル耐震設計研究委員会(47.6.9~10) 出席者:関係者18名。議事:衣浦港沈埋トンネル施工現場および主要土木施設の視察。

(26) 水理委員会移動床流れの粗度と河床形状研究小委員会主査幹事会(47.6.10) 出席者:林委員長,岸,芦田の両主査,ほか3名。議事:「移動床流れの粗度と河床形状の研究」の土木学会論文報告集掲載原稿のとりまとめを行なった。

(27) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第6回委員会(47.6.12) 出席者:久保委員長,ほか29名。議事:1)委員長挨拶。2)前回議事録の確認。3)昭和47年度小委員会,各グループ構成ならびに活動方針について。

(28) 行事企画委員会(47.6.12) 出席者:森委員長,嶋副委員長,ほか10名。議事:1)全国大会運営手引についで。2)土木製図の自動化に関するシンポジウムについて。3)昭和47年度夏期講習会について。4)昭和47年度全国大会について。5)委員の交代について。

(29) 原子力土木委員会コンクリート部会構造物設計施工指針分科会(47.6.12) 出席者:関係者8名。議事:圧力容器(荷重および強制変形)について。

(30) 企画委員会第1回幹事会(47.6.12) 出席者:堀委員長,森委員,ほか3名。議事:委員会の今後の運営推進について。

(31) コンクリート委員会打合せ(47.6.13) 出席者:国分委員長,ほか4名。議事:第1回委員会の運営について。

(32) コンクリート委員会(第1回)(47.6.14) 出席者:国分委員長,ほか28名。議事:1)委員会の運営について。2)コンクリート標準示方書の改訂について。

(33) コンクリート委員会打合せ(47.6.14) 出席者:国分委員長,ほか11名。議事:コンクリート標準示方書改訂方針の担当者の詳細,方針について。

(34) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会幹事会(47.6.14) 出席者:岡本委員長,ほか14名。議事:1)議事録の確認。2)新任委員兼幹事の紹介。3)学会誌掲載原稿に対する報告。4)報告書のとりまとめについて。

(35) 膨張性セメント混和材を用いたコンクリートに関する研究小委員会幹事会(47.6.14) 出席者:関係者7名。議事:膨張性セメント混和材を用いたコンクリートに関するシンポジウムに発表する「ケミカルプレストレストコンクリートの試験方法について」の試験のまとめ。

(36) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会鋼構造分科会(47.6.15) 出席者:関係者11名。議事:鋼構造に関する検討。

(37) 総局強度設計小委員会(47.6.15) 出席者:河野主査,ほか11名。議事:1)コンクリートの特性値について成果のまとめについて。2)鋼材についての資料集めについて。3)荷重については資料の集め。4)プレストレッシングの管理について。

(38) 青函トンネル土工研究委員会第2回土工小委員会(47.6.15) 出席者:嶋小委員長,ほか11名。議事:1)測定坑の計画について。2)今後の開催予定について。

(39) 文献調査委員会(47.6.15) 出席者:小林委員長,ほか11名。議事:1)会誌57巻8号登載抄録について。2)解説記事について。3)その他。

(40) 大学土木教育委員会第22回幹事会(47.6.16) 出席者:山口幹事長,ほか5名。議事:大学土木教育に関するアンケートの集計結果の最終原稿のとりまとめについて審議検討。

(41) 岩盤力学委員会第1分科会クラウト班打合せ(47.6.19) 出席者:関係

者6名。議事:“ダム岩盤のグラウチング施工指針”講習会講師打合せ。

(42) 中海干拓事業水理研究専門委員会(47.6.19) 出席者:速水委員長,ほか21名。議事:1)境水道の副振動水理模型実験報告および護岸高について。2)干拓背後地の地下水変動について。

(43) 原子力土木委員会耐震部会(第16回)(47.6.20) 出席者:関係者16名。議事:1)研究活動フローチャートの見直し(東地区担当)。2)地盤液状化のまとめ案について再審議(西地区担当)。3)半地下式基礎逐次積分法計算結果について補足説明(西地区担当)。4)地下式基礎逐次積分法計算結果の説明。5)逐次積分法計算結果について検討(各分科会)。6)取放水路の耐震についてとりまとめ方針(中地区担当)。

(44) 図書館運営小委員会(47.6.20) 出席者:園田委員長,ほか4名。議事:1)昭和47年度図書館運営予算の検討。2)昭和47年度の活動について。

(45) 原子力土木委員会幹事会(47.6.21) 出席者:関係者7名。議事:第4回原子力土木委員会提出資料および議題について。

(46) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会基礎土構造分科会幹事会(47.6.21) 出席者:関係者10名。議事:基礎土構造に関する検討。

(47) 論文集編集委員会第1小委員会(47.6.21) 出席者:前田(前)委員長,岡内主査,伊藤(前)主査,ほか14名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿について。4)新旧委員会事務引き継ぎ。5)その他。

(48) 論文集編集委員会第2小委員会(47.6.21) 出席者:室田主査,ほか13名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿について。4)新旧委員会事務引き継ぎ。5)その他。

(49) 論文集編集委員会第3小委員会(47.6.21) 出席者:久野委員長,稲田主査,ほか10名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿について。4)新旧委員会事務引き継ぎ。5)その他。

(50) 論文集編集委員会第4小委員会(47.6.21) 出席者:松本主査,野谷(前)主査,ほか14名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿について。4)新旧委員会事務引き継ぎ。5)その他。

(51) 論文集編集委員会第5小委員会(47.6.21) 出席者:岩間主査,ほか9名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報

告。3) 新規受付原稿について。4) 新旧委員会事務引き継ぎ。5) その他。

(52) 論文編集委員会合同委員会 (47.6.21) 出席者: 前田(前)委員長, 久野委員長, 岡内, 室田, 稲田, 松本, 岩間の各主査, 伊藤, 新谷の前主査, ほか60名。議事: 1) 新旧委員長あいさつ。2) 論文報告集作業手順の説明。3) 47年度各部門主査および幹事の紹介。

	主査	幹事
第1小委員会	岡内 功	川口昌宏
第2 "	室田 明	椎貝博美
第3 "	稲田倍穂	矢作 桓
第4 "	松本嘉司	中村良夫
第5 "	岩間 滋	長滝重義

4) その他。

(53) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会コンクリート構造分科会幹事会 (47.6.22) 出席者: 関係者6名。議事: コンクリート構造に関する検討。

(54) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会解析分科会(第4回) (47.6.22) 出席者: 関係者12名。議事: 1) トラスのねじれ解析。2) 二重連続吊橋。3) 斜張橋の有限変形解析。

(55) フライアッシュ小委員会幹事会 (47.6.22) 出席者: 国分委員長, ほか4名。議事: 1) 10年試験の実施・とりまとめ。2) 追加試験の実施・とりまとめ。3) 20年試験に関連して。

(56) 文献調査委員会 (47.6.22) 出席者: 伊藤, 小林新旧委員長, ほか12名。議事: 1) 本委員会の近況と問題点について。2) 新委員会構成の趣旨と運営の基本方針について。3) 本委員会の作業内容。4) 文献抄録について。5) 解説記事について。

(57) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会実験作業分科会(第8回) (47.6.26) 出席者: 関係者18名。議事: 1) 耐風実験橋について。2) 今後の進め方について。

(58) 第1回土木工学ハンドブック編集委員会 (47.6.24) 出席者: 八十島委員長, 下村専務理事, 山本委員長代理, 千秋幹事長, ほか60名。議事: 1) 経過報告。2) 委員会内規および構成について。3) 編集要綱について。4) 出版計画。5) 編集作業計画。6) 土木工学ハンドブック内容構成。7) その他。

(59) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会塗装分科会(第14回) (47.6.26) 出席者: 関係者8名。議事: 塗装仕様のとりまとめ。

(60) 岩盤力学委員会 (47.6.26) 出席者: 岡本委員長, ほか10名。議事: “ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針” 講

習会関係打合せ。

(61) トンネル覆工における鋼製支保工の効果に関する研究小委員会幹事会 (47.6.27) 出席者: 松本幹事長, ほか8名。議事: トンネルの合理的設計法に関する研究のとりまとめについて検討した。

(62) 会誌編集委員会 (47.6.27) 出席者: 千秋(前)委員長, 天野(新)委員長, ほか34名。議事: 1) 会誌編集経過報告。2) 会誌編集諸務協議。3) 昭和46, 47年度委員会事務引き継ぎ。4) 懇談会。

(63) 構造工学委員会(第9回) (47.6.27) 出席者: 国分副委員長, ほか16名。議事: 1) 関連委員会の成果報告。2) IABSE 第9回会議の報告。3) 小委員会の計画(案)について; ①構造物安全性研究小委員会, ②構造力学公式集編集小委員会。4) 他学協会, 機関等に関する連絡事項。

(64) トンネル工学委員会シールド工法小委員会鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会打合せ (47.6.27) 出席者: 村上主査, 山本副主査。議事: 鋼製セグメントの規格化案のとりまとめのため, 打合せを行なった。

(65) 海外活動委員会 (47.6.27) 出席者: 太田尾(前)委員長, 吉越委員長, ほか19名。議事: 1) 新旧委員長あいさつ。2) 自己紹介。3) 内規の説明。4) 47年度委員会活動に関連して。5) その他。

(66) 原子力土木委員会コンクリート部会構造物設計施工指針分科会 (47.6.28) 出席者: 関係者8名。議事: プレストレストコンクリート原子炉構造物設計施工要領案; 2節 压力容器躯体の設計, 3節 压力容器支持構造の設計について。

(67) トンネル工学委員会シールド工法小委員会鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会打合せ (47.6.28) 出席者: 関係者12名。議事: セグメント標準規格案の編集, 出版について打合せを行なった。

(68) 論文編集委員会主査幹事会 (47.6.28) 出席者: 前田(前)委員長, 久野委員長, 岡内, 室田, 稲田の各主査, 伊藤, 新谷の前主査, ほか6名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 各委員会報告。3) 合同委員会報告。4) 論文報告集第205号登載論文の決定。5) 47年度副委員長および総括幹事の決定
副委員長 室田 明 第2部門主査(大阪大学)
総括幹事 長滝重義 第4部門幹事(東工大)
6) 新旧事務引き継ぎ, 申送り事項につ

いて。7) 定例主査幹事会開催日について。8) その他。

(69) 岩盤力学委員会第3分科会(第1回) (47.6.29) 出席者: 川本主査, ほか16名。議事: 1) 経過報告。2) 昭和47年度活動方針について。3) 岩盤試験法の基準化について。4) 地質調査に関する解説書(第1分科会担当)。5) 岩盤研究会におけるテーマ「岩盤試験法」について。

(70) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会座屈分科会(第7回) (47.6.29) 出席者: 関係者13名。議事: 主塔設計要領について。

(71) 橋梁年報編集小委員会 (47.6.29) 出席者: 阿部委員長, ほか3名。議事: 橋「1971~1972」の編集について打合せを行なった。

(72) 海外工事契約仕様書研究会 (47.6.30) 出席者: 吉越主査, 横山, 赤木副主査, ほか18名。議事: テキスト第12章につき協議検討を行なった。

(73) 鋼構造委員会鋼構造架設基準小委員会準備会 (47.6.30) 出席者: 関係者18名。議事: 1) 経緯の説明。2) 架設基準作成の目的および趣旨。3) 従来の他の架設関係委員会について。4) 架設基準作成方針について。5) 今後のとりまとめ方法について。

(74) 海外活動委員会幹事会 (47.7.7) 出席者: 吉越委員長, 赤木幹事長, ほか10名。議事: 1) 前回委員会報告。2) Civil Eng. in Japan, 1972年版編集について。3) 47年度委員会活動に関連して。4) 特集号の企画について。5) その他。

◎その他

(1) “ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針” 講習会 (47.6.27)

場 所: 発明会館

参加者: 319名

講演数: 6題

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 第2回昼食会 (47.8.11, 支部事務局) 出席者: 松本幹事長, ほか10名。講演: 西栗子トンネル路面修繕工事について, 日本舗道(株) 仙台支店長市村敏行氏。議題: 1) 土木学会会員の増強方法について。2) 土木学会はいかにあるべきか。

◎関西支部

(1) 講習会「水工学におけるランダム事象と最適化に関する諸問題」(47.6.27~28, 大阪科学技術センター)

題目と講師:

1. 数値解析の一般的手法について
大阪大学講師工学部 神田 徹
2. 海面の不規則性について
立命館大学助教理工学部 理修 柿沼 忠男
3. 移動砂面の不規則性について
京都大学教授防災研究所 工博 芦田 和男
4. 開水路流れにおける速度の不規則性について
京都大学助教防災研究所 工博 今本 博健
5. 降雨流出について
近畿地方建設局河川部河川管理課長 星知 国松
6. 貯水池群の運用計画について
近畿地方建設局木津川上流工事事務所長 藤原 敬明
7. 水系水資源計画について
近畿地方建設局河川部河川計画課長 山口 甚郎
8. 水系の水質水量管理について

近畿圏整備本部調査官 藤野 良幸

参加者: 139名 { 会員 123名
非会員 16名 }

参加費: 会員 3500円, 非会員 5300円

(2) 第1回商議員会 (47.6.21, グリル近鉄) 出席者: 後藤, 長尾理事, 商議員 29名, 評議員 5名, 幹事 6名。

(3) 第2回幹事会 (47.6.21, グリル近鉄) 出席者: 柳瀬支部長, 後藤幹事長, ほか 14名。

(4) 企画・計画担当幹事会(第2回) (47.7.4, 土木学会関西支部) 出席者: 柳瀬支部長, 後藤幹事長, ほか 12名。

(5) 庶務・会計担当幹事会(第1回) (47.6.19, 土木学会関西支部) 出席者: 柳瀬支部長, 後藤幹事長, ほか 8名。

(6) 庶務・会計担当幹事会(第2回) (47.7.12, 土木学会関西支部) 出席者: 後藤幹事長, ほか 5名。

(7) 庶務幹事打合せ (47.6.19, 土木学会関西支部) 出席者: 幹事 3名。

(8) 財政に関する打合せ (47.6.19, 土木学会関西支部) 出席者: 柳瀬支部長, 後藤幹事長, ほか 9名。

(9) 支部に関する懇談会 (47.7.3, 好文俱樂部) 出席者: 野瀬元支部長, 岡田元幹事長, ほか 12名。

(10) 事務所運営打合せ(第1回) (47.7.12, 阪神高速道路公団千里研修所) 出席者: 土木学会, 土質工学会より関係者 8名。

(11) 役員交流懇親会 (47.7.12, 阪神高速道路公団千里研修所) 出席者: 土木学会, 土質工学会より関係者 12名。

(12) 学生対象行事に関する打合せ (47.6.30, 土木学会関西支部) 出席者: 関係者 9名。

(13) 「掘削・土留工事の基礎的な問題」講習打合せ (47.6.18) 出席者: 土木学会, 土質工学会より関係者 6名。

(14) 第70回騒音振動委員会(47.6.20, 土木学会関西支部) 出席者: 関係者 8名。

(15) 騒音振動委員会幹事会(第67回) (47.6.20, 土木学会関西支部) 出席者: 畠山幹事長, ほか 3名。

編集 後記

——安原 明・記

どのような思想に基づいて行なうのが妥当であろうか。

とが要求されているように思われる。

「47.7 豪雨」と命名された7月上旬から中旬にかけてツユ前線豪雨は日本列島を北に南に走りまわり、各地に大きな被害を出し、死者行方不明者は400名を越えたことが報じられている。

「災害は忘れた頃にくる」という言葉も現在ではすでに陳腐化してしまつたように見受けられるほど、毎年わが国のどこかで大規模な災害が発生している事実を私達はどのように受けとめたらよいであろうか。

われわれ土木技術者が施設物の計画, 設計を行なう場合, 大なり小なり防災上の配慮が必要とされるが,

「水を治めるものは国を治める」といわれ昔から, 治山治水対策についてはとよきの為政者の重要な施策となってきた。

経済の高度成長に伴い人口の都市集中は急速に促進されるとともに, 地方農山村の過疎化に拍車がかけている。このような社会情勢の変化によりまた新しいタイプの災害が生れてきた。たとえば, 大規模な宅地開発が原因となった土砂崩壊, 中小河川のはんらん等とはとくに最近の社会の変化を反映したものと見えよう。防災対策についてもこのような時代の情勢をふまえた上で, たえず新しい観点から遅滞なく実施するこ

防災事業あるいは防災対策的なものに対する社会一般の評価も大変漠然としており, 常時は無頓着のように見受けられる。しかし, いったんことが発生し尊い人命が失われるようなことがあれば, 世論は人災という言葉で駆使して政策担当者に批難をあげせかけることが多い。

土木技術者にとっては, 自ら防災についての哲学または信念をもって常に社会に対して必要な対策をPRしつつ計画, 設計を進め, いやしくも後手にまわることのないよう心掛けるべきと思われるが読者諸兄のお考えはいかがでしょう。

第8回衛生工学研究討論会講演論文集

● B5・138 ページ/1500円(〒100円)/1972年1月開催の12論文を収録●